

Snowflake Data WarehouseとSplunk DB Connectの統合

適用性

Splunkアプリケーションアドオン

説明

Snowflakeは次の場所に配置されました：

```
/opt/splunk/etc/apps/splunk_app_db_connect/drivers/snowflake-jdbc-3.9.1-javadoc.jar  
/opt/splunk/etc/apps/splunk_app_db_connect/drivers/snowflake-libs/snowflake-jdbc-3.9.1-j  
/opt/splunk/etc/apps/splunk_app_db_connect/jars/snowflake-jdbc-3.9.1-javadoc.jar
```

次のバージョンのJREが使用されています。

```
/usr/java/jdk1.8.0_131/jre
```

/opt/splunk/etc/apps/splunk_app_db_connect/local/db_connection_types.confのスタンザは次のとおりです。

```
[snowflake]  
displayName = Snowflake  
serviceClass = com.splunk.dbx2.DefaultDBX2JDBC  
jdbcUrlFormat = jdbc:snowflake://:/  
jdbcDriverClass = com.snowflake.client.jdbc.SnowflakeDriver
```

接続が作成され、保存しようとする、次のエラーが表示されます。

```
Database connection snowflake is invalid
No suitable driver found for jdbc:snowflake://"":443/
```

調査

Snowflakeが実際のデータベースである場合、Splunkがサポートするものではありませんが、JDBCドライバを持つデータベースはSplunk DB Connectで動作します。

Snowflakeを有効にするための正しい表記は、機能するように従う必要があります。

Splunkドキュメント

[データベースドライバのインストール](#)
[サポートされるデータベース](#)

他のデータベースのドライバをインストールする

JDBCドライバを持つデータベースがサポートされているデータベースマトリックスに表示されていない場合でも、Splunk DB Connectにカスタムサポートを追加することができます。

サポートされているデータベースマトリックスにリストされていないデータベースへの接続は、Splunkサポートではサポートされていません。

少なくとも、Splunk DB Connectはカスタムデータベース接続のクエリをサポートします。一部のカスタムデータベース接続では、特定のクエリ関連機能が動作しない可能性があります。

ファイルdb_connection_types.confが変更されていることがわかりました。

```
[snowflake]
displayName = Snowflake
```

```
serviceClass = com.splunk.dbx2.DefaultDBX2JDBC
jdbcUrlFormat = jdbc:snowflake://:/
jdbcDriverClass = com.snowflake.client.jdbc.SnowflakeDriver
```

jdbcUrlFormatの標準定義では、上記のjdbcUrlFormat/パラメータに「host」、「port」、「database」などの欠落しているフィールドが表示されます。

```
etc/apps/splunk_app_db_connect/default/db_connection_types.conf [oracle]
etc/apps/splunk_app_db_connect/default/db_connection_types.conf jdbcDriverClass = oracle
etc/apps/splunk_app_db_connect/default/db_connection_types.conf jdbcUrlFormat = jdbc:ora
```

```
etc/apps/splunk_app_db_connect/default/db_connection_types.conf [mssql]
etc/apps/splunk_app_db_connect/default/db_connection_types.conf jdbcDriverClass = net.so
etc/apps/splunk_app_db_connect/default/db_connection_types.conf jdbcUrlFormat = jdbc:jtd
```

次の点ではなく、

```
jdbcUrlFormat = jdbc:snowflake://:/
```

URLの形式を確認します。

たとえば、次のような場合です。

```
jdbc:snowflake://<host>.snowflakecomputing.com/
jdbc:snowflake://<account>.snowflakecomputing.com:<port>/
```

ベンダーのWebサイトで指定されている「user」、「role」、「schema」などの接続パラメータを使用する。

Snowflakeドキュメント

[マニュアル：ユーザガイドjdbc-configure.html jdbc-driver-connection-string](#)

```
jdbc:snowflake://<account_name>.snowflakecomputing.com/?<connection_params>  
"Use net.snowflake.client.jdbc.SnowflakeDriver as the driver class in the JDBC application.
```

The previous driver class, com.snowflake.client.jdbc.SnowflakeDriver, is still supported but is deprecated (i.e. it will be removed in a future release, TBD)."

解決方法

db_connection_types.conf のSnowflake stanzaに指定する正しい形式(jdbcUrlFormat)は次のとおりです。

```
jdbc:snowflake://<account_name>.snowflakecomputing.com/?<connection_params>
```

<#root>

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。